

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2009年31週(7月5週7/27~8/2)

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

今週の内容

トピックス

新型インフルエンザ(A/H1N1)、ヘルパンギーナ
病原体検出情報
定点医療機関コメント
ヘルパンギーナ、マイコプラズマ、インフルエンザ、
感染性胃腸炎 等
全数把握感染症発生状況 ()内は件数。
結核(43)、細菌性赤痢(1)、腸管出血性大腸菌感染症(9)、
レジオネラ症(2)、アメーバ赤痢(2)、ウイルス性肝炎(2)、
後天性免疫不全症候群(2)、梅毒(1)、
新型インフルエンザ等感染症

名古屋市感染症情報(7月後半)

WHO 疫学週報抄訳

2009年7月10日(84巻28号)

ポリオ;インドにおける根絶進捗

新型インフルエンザ流行国世界地図

2009年7月17日(84巻29号)

ポリオ;1型3型2混生ワクチン

新生児破傷風;タンザニアの状況

新型インフルエンザ短報;タミフル耐性ウイルス
定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf> をご覧ください。

トピックス

新型インフルエンザ(A/H1N1)

クラスターサーベイランス

7月24日~8月3日報告分の愛知県内集団発生は6件です。詳しくは以下のページをご覧ください。

「愛知県の新型インフルエンザ A/H1N1 発生状況(集団発生等)」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/new_inf2009_4.html

31週の感染症法第12条に基づく届出は9件(4ページ)です。

インフルエンザサーベイランス(9、10ページ)

31週報告より、インフルエンザ定点医療機関からの「インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)」には、「新型インフルエンザ(A/H1N1)」も合わせて報告されています。

31週の定点当たり報告数は0.34、前週比1.2倍(55人 67人)です。

【参考ページ】

1. 新型インフルエンザ(A/H1N1)に係る今後のサーベイランス体制について
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/090724jimurenaku.pdf>
2. 「新型インフルエンザ」ウイルス学的検体採取について(7月24日更新)
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/new_inf.html
3. 2008/09シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri08_09.html
4. 愛知県の新型インフルエンザ A/H1N1 発生状況(7月23日までの全数把握時の報告)
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/new_inf2009_3.html
5. 新型インフルエンザへの対応の変更について(ネットあいち)
<http://www.pref.aichi.jp/0000026179.html>

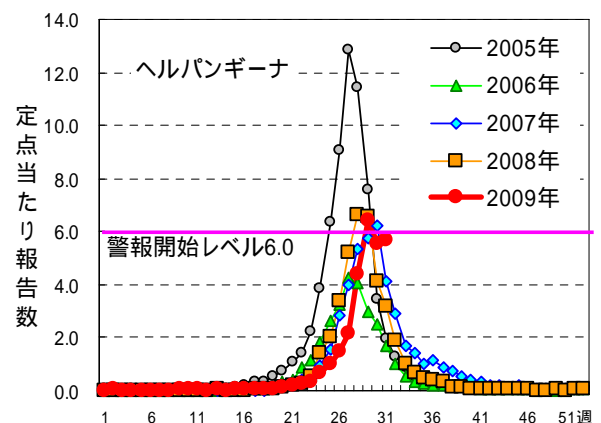
ヘルパンギーナ(図)

31週の定点当たり報告数は5.66、前週比1.0倍(1,008人 1,030人)です。警報開始レベル(定点当たり6.0)以上の保健所は9保健所(瀬戸、津島、春日井、江南、半田、岡崎市、衣浦東部、豊橋市、豊川)です。

【参考ページ】

乳幼児に夏かぜが流行しています! ~ ヘルパンギーナの流行について ~ (健康対策課発表)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/090723.pdf>



インフルエンザは 2008 / 2009 シーズンの検査結果です。

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	インフルエンザ (新型インフルエンザは別途)
患者数	163	18	35	15	20	9	8	251
CV-A6		1	1					
CV-A10		2	2					
CV-A16		1						
EV-71		2						
CV-B4						2		
E-9			1					
E-11							1	
E-18		1						
FluAH1							1	126
FluAH3								49
FluB								26
Rota A G1	13							
Rota A G3	4							
NV-G	1							
NV-G	35							
SV	1							
AstV	1							
Ad-1	1			2				
Ad-2	4			1				
Ad-3				7	4			1
Ad-5								1
Ad-31	1							
検査中	19	5	24	3		3		4
陰性	84	6	7	2	16	4	6	45

略: ウイルス名(他の略名)
 Ad : アデノウイルス EV-71: エンテロウイルス 71 型 NV : ノロウイルス
 AstV : アストロウイルス FluAH1 : A ソ連型インフルエンザウイルス Rota A : A 群ロタウイルス
 CV : コクサッキーウイルス(Cox.) FluAH3 : A 香港型インフルエンザウイルス SV : サボウイルス
 E : エコーウイルス FluB : B 型インフルエンザウイルス

関連ページ
 1) 「疾患別ウイルス検出情報」 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>
 2) 「2008/09 シーズンインフルエンザウイルス分離状況」
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri08_09.html

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

インフルエンザ A 型 3 名あり(3 歳男、9 歳女 姉弟あり、10 歳女)。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

A 型インフルエンザ 3 歳 7 か月女

【一宮市 ささい小児科】

マイコプラズマ感染症 6 名

【一宮市 城後小児科】

マイコプラズマ肺炎 6 歳女

【稲沢市 野村整形外科】

1 歳男に病原性大腸菌(O166)検出

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

10 歳女で A 型インフルエンザがありました。名古屋の体操教室ではやっていたそうです。3 歳の妹に感染しました。天理市でも子供の集会があり集団感染があった様です。

【犬山市 武内医院】

ヘルパンギーナの流行が続いています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

ヘルパンギーナ続いています。

突発疹も目立ちます。

【岩倉市 なかよしこどもクリニック】

9 歳女 インフルエンザ A

【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

サルモネラ(O9)7歳男
病原性大腸菌(O6)10歳男
ヘルパンギーナ多くみられます。
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
発疹性ウイルス感染症が目立ちます。
その他ヘルパンギーナ、溶連菌感染症等、と
びびが増加しました。
【尾張旭市 医療法人佐伯小児科医院】
ムンプス、アデノウイルス感染症がありました。
【春日井市 春日井市民病院】
インフルエンザなし。
めだったものありません。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
当院近辺でもヘルパンギーナが多いです。手
足口病は今のところ見られておりません。
また、カンピロバクターによる腸炎が2例ほ
ど見られております。
【春日井市 かがわこどもクリニック】

ヘルパンギーナが続いています。
【小牧市 志水こどもクリニック】
インフルエンザA 男13歳
4歳女、41歳男、43歳女 サルモネラO4(+)
42歳女 サルモネラO9、H-G(+)
16歳男病原性大腸菌O25(+)O128(+)VT(-)
【半田市 医療法人林医院】
6歳男 インフルエンザA型。オーストラリ
アに出かけていた。機内で熱あり。
【東海市 こいで内科医院】
ヘルパンギーナがやや目立ちます。
病原大腸菌O1(10歳女)
病原大腸菌O25(2歳男)
ウイルス性発疹症は減りましたが、まだ少し
みられます。
【東海市 もしもしこどもクリニック】
ウイルス性発疹症10名
アデノウイルス扁桃炎 29歳女
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

E. coli (O1) + サルモネラ腸炎 2歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルエンザA型 2名
【豊田市 足助病院】
8歳男 病原性大腸菌O6(+)
9歳女 カンピロバクター
【岡崎市 花田こどもクリニック】
3歳女、6歳女 サルモネラ腸炎。
ヘルパンギーナが目立ちます。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
11歳男 病原大腸菌O18
10歳男 カンピロバクター
2歳男 病原大腸菌O25
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
細菌性腸炎も目立ちます。
【碧南市 永井小児クリニック】

インフルエンザはすべてA型
【刈谷市 医療法人豊田会刈谷豊田総合病院】
マイコ気管支炎 2名(3歳、11歳)
【刈谷市 田和小児科医院】
感染性胃腸炎、ヘルパンギーナが少しみられます。
【三好町 三好町民病院】
病原性大腸菌O86a(+) 1歳男
A型インフルエンザ 5人
【西尾市 山岸クリニック】
サルモネラO9 H-G(+) 4歳男
サルモネラO8 7歳女
【西尾市 やすい小児科】
< 新型インフルエンザに関するコメント >
A型インフルエンザ増加(新型確定例および
疑い例も含め 2)。

東三河地区

1歳女 カンピロバクター腸炎
1歳女 サルモネラO18
兄弟で9歳男、5歳男 カンピロバクター腸炎
ヘルパンギーナ流行中
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

インフルエンザA(+)です。
【豊川市 豊川市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2009年8月5日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun080512.pdf

結核（二類感染症）

報告保健所	2009年31週報告数			2009年累計(1～31週)		
	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	18	3	2	487	131	80
豊田市				54	15	9
豊橋市				38	8	3
岡崎市	3	1	2	27	11	5
一宮	6	1		77	24	10
瀬戸	1			86	27	14
半田	1	1		36	9	7
春日井	6	1	3	66	22	12
豊川	1	1		32	13	6
津島				47	10	6
西尾				21	7	3
江南	2	1		64	15	13
新城				8	3	1
知多	4	1	3	53	17	14
師勝				29	14	1
衣浦東部	1			75	23	16
合計	43	10	10	1,200	351	200

細菌性赤痢（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	春日井	12歳	女	7/27	7/27	7/30	タンザニア

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	2歳	女	7/25	7/28	7/30	O157、VT2(+)
2	名古屋市	27歳	女	7/24	7/24	7/31	O157、VT1(+)/VT2(+)
3	名古屋市	0歳4か月	女	7/25	7/29	7/29	O157、VT1(+)/VT2(+)
4	豊橋市	61歳	女	7/21	7/22	7/26	O157、VT1(+)/VT2(+)
5	一宮	4歳	女	7/29	7/29	7/31	O103、VT1(+)
6	瀬戸	62歳	女	7/21	7/22	7/24	O157、VT1(+)/VT2(+)
7	瀬戸	53歳	男	-/-	7/27	7/31	O157、VT1(+)/VT2(+)、 無症状病原体保有者
8	豊川	75歳	男	7/18	7/21	7/24	O157、VT1(+)/VT2(+)
9	豊川	7歳	女	7/25	7/27	7/29	O157、VT1(+)/VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域	
1	名古屋市	54歳	女	肺炎型	国内	
2	名古屋市	76歳	女	肺炎型	国内	
アメーバ赤痢（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	37歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内
2	豊田市	36歳	男	腸管外アメーバ症	性的接触	国内
ウイルス性肝炎（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	瀬戸	32歳	男	B型	性的接触	タイ
2	江南	28歳	男	B型	不明	国内
後天性免疫不全症候群（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	36歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	豊田市	36歳	男	その他	性的接触	国内
梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	38歳	男	早期顕症	性的接触	国内

新型インフルエンザ等感染症（愛知県全体・保健所受理週別）2009年8月5日現在

新型インフルエンザ(A/H1N1) [感染症法第12条に基づく届出]

症例定義 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/syoureiteigi090724.pdf>

番号	報告保健所	年齢	性別	類型	推定感染地域
1	名古屋市	10歳	女	患者	国内
2	豊田市	16歳	男	患者	国内
3	岡崎市	2歳	男	疑似症患者	国内
4	岡崎市	5歳	男	疑似症患者	国内
5	岡崎市	11歳	男	患者	国内
6	岡崎市	11歳	男	疑似症患者	国内
7	岡崎市	11歳	男	疑似症患者	国内
8	岡崎市	11歳	男	疑似症患者	国内
9	豊川	15歳	男	患者	国内

クラスターサーベイランスに基づく集団発生事例については以下のページをご覧ください。

愛知県の新型インフルエンザ A/H1N1 発生状況(集団発生等)

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/new_inf2009_4.html

愛知県衛生研究所企画情報部(文責 磯村)

例年でしたら8月6日の広島原爆慰霊の日には夏空が広がり白い雲が沸き起こってる頃ですが、本当に天候不順な毎日で、日焼けした小学生なんてあまりお目にかかれず、研究所の窓の外の本々でうるさく鳴いている蝉も静かです。いつも貴重な情報をありがとうございます。7月後半のまとめの続報をお送りします。

三菱病院入山先生からはムンプスが5名とやや目立ち(1名入院)、感染性胃腸炎2名、咽頭アデノウイルス感染症1名、マイコプラズマを含む気管支炎~肺炎の入院3名と目立った変化はなく、中京病院柴田先生からはヘルパンギーナなどの夏カゼが出始め病原性大腸菌O157による入院2例(いずれもVT2陽性)とのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部(文責 磯村)

2009年7月10日(84巻28号) <http://www.who.int/wer/2009/wer8428/en/index.html>

ポリオ。インドにおける根絶進捗。07年1月~09年5月。

インドはポリオ野生株(WPV)流行4カ国のうち最大人口国(他はナイジェリア、パキスタン、アフガニスタン)である。流行は北部のビハール、ウタルプラデシュ(UP)の2州に局在(この2州で全インドの過去5年間の患者の94%)、他の州では00~02年の3価経口生ワクチン(tOPV)による補充予防接種活動(SIA)の結果野生株伝播は根絶され04年以降は両州からのWPV持込だけになっている。インド政府は1型野生株対策としてtOPVより1型単価生ワクチン(mOPV1)によるSIAを優先、その結果WPV1は減少、07年に83例、08年75例、09年1月~5月29日(以下09年前半)18例の報告があり、以前は世界最大の流行地域であった西部UP地区で06年9月~08年5月WPV1ゼロ、08年5月にビハールから輸入、WPV3流行が07~08年発生(07年794例、08年484例)、mOPV3によるSIA実施で減少、09年1月~5月29日には41例報告となっている。本報は07年1月1日~09年5月29日のインドにおけるポリオ根絶努力の概略でビハール州とUP州西部がキーとなっている。

- (1) 予防接種活動：インドにおける現行スケジュールは定期接種としてtOPVを出生時、生後6週、10週、14週、16~24月に接種、全国的に07~08年の調査では12~23ヶ月児で12ヶ月までにtOPVが3回以上接種されているのは66%であった。tOPV定期接種率はビハールで53%、UPで40%であった。07年~09年、インド政府は地域流行状況に応じてtOPV、mOPV1、mOPV3のどれかで一斉接種実施、さらに流行や新規発生に応じてmOPV1かmOPV3で地域一斉絨毯爆撃的接種実施(地図あり)。SIA終了時点のモニタリング調査ではUP州小児の2~3%、ビハール州では1%未満の小児が未接種だった。
- (2) 急性弛緩性麻痺(AFP)サーベイランス：インドにおける15歳未満小児人口10万当りの非ポリオAFP報告数は07年9.4、08年10.2、09年前半6.6でビハール、UPでは07年~09年前半で12.9~28.4であった。全国的にAFP例からの適切な便材料収集率は07年と08年が84%、09年前半が86%であった。AFP例の便材料は8カ所のWHO認定世界ポリオ検査ネットワーク検査室でウイルス分離、同定、野生株の遺伝子解析実施、07年80,614検体、08年91,222検体を検査、07年の新術式導入後80%を超える型内鑑別が21日未満に報告されるようになった。

AFP 発病から検体採取までの平均日数は 07 年 1 ~ 3 月に 58 日だったのが 09 年同期には 22 日に短縮、ムンバイの標準検査室が全 WPV 分離株の遺伝子解析実施。

- (3) WPV 疫学：インド WPV 患者総報告数は 07 年 13 州で 874 例、08 年 13 州で 559 例（図、表あり）09 年前半には 4 州から 59 例報告があり、07 年 ~ 08 年の報告例で 867 例（61%）が 24 ヶ月未満、44 例（3%）が 5 歳を超えていた。1,108 例（77%）が OPV 接種が 7 回を超え、265 例（18%）が 4 ~ 7 回、40 例（3%）が 1 ~ 3 回、20 例（1%）が接種ゼロまたは不明であった。（注：OPV 接種歴が何回かあっても WPV 陽性 AFP 患者が発生している理由については明確なコメントなし。Editorial note に低栄養や下痢が多いことが関連していると考えられると記載されているだけ）。遺伝子解析から 08 年の UP 起源の WPV 1 が一度消失後ビハール由来の WPV 1 が UP で流行、WPV3 の流行は UP、ビハール共にビハール起源の株であった。

09 年 7 月 6 日時点の新型インフルエンザウイルス A(H1N1)感染確認例と死亡例発生国世界地図

2009 年 7 月 17 日（84 巻 29 号）<http://www.who.int/wer/2009/wer8429/en/index.html>

ポリオワクチン。ポリオ根絶助言委員会（ACPE）の 1 型 3 型 2 価経口生ワクチン（bOPV）勧告。

07 年 11 月 ACPE はポリオ 1 型野生株（WPV 1）と 3 型野生株（WPV3）が混合流行している地域に bOPV 導入を勧告。09 年 6 月 11 日 ACPE による治験の結果と最近の世界の疫学のレビューから定期接種、補充予防接種活動（SIA）による bOPV 接種導入が 3 価生ワクチン（tOPV）単価 1 型、3 型生ワクチン（mOPV1 と mOPV3）に替わるポリオ根絶作戦として提言された：

北インドのような OPV 有効性不良地区。 ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンのような WPV1 と WPV3 の混合流行国。 ネパール、サハラ南縁諸国のような輸入リスク国。 WPV 再感染国。09 年 11 月 18 ~ 19 日次回 ACPE 会議で討論予定。

新生児破傷風排除（Elimination）状況確認。タンザニア。

02 年の WHO の推定では世界の新生児破傷風（NT）患者数は 21.8 万例、死亡 18 万例でその 39%がアフリカ地域で死亡 7.2 万例となっている。多くの国で NT の罹患死亡率は 50%を超え、保健施設へのアクセスの悪い地域では 80%を超えている場合もある。1989 年、世界保健会議は世界からの NT 排除を目標のひとつに設定。排除の定義として千出生当り 1 未満とした。NT は

出産可能年齢女性に対し妊娠前とか妊娠中に破傷風トキソイド（TT）を接種すること、分娩後の処置など清潔な出産、で予防可能な疾患である。NT 予防の原則作戦は妊娠可能年齢の女性に対する TT とか破傷風ジフテリア二種混合ワクチン（Td）の定期接種や定期外補充接種（SIA）と資格を持つ助産婦による清潔な分娩である。00 年、58 ヶ国が NT ハイリスク国でうち 14 ヶ国（24%）が 00 ~ 09 年 4 月の間に排除確認が可能で残り 44 ヶ国に排除努力が集中、99 ~ 08 年末、40 ヶ国を超える国で TT による SIA 実施、8 千万人を超える女性が接種を受けている。タンザニアでは 1980 年代から全ての妊婦を対象として TT2 回接種（TT2）を導入、02 年にハイリスク地域 2 地域で TT2 による妊婦 SIA 履行。その後の NT 対策進捗から NT 報告例数は 00 年の 48 例から 05 年の 7 例に減少。05 年の NT 死亡は千出生当り 0.005 となっているがこれは過小評価の可能性があり、タンザニア政府は WHO とユニセフに NT 排除確認調査の支援を依頼した。

- (1) 方法：07 年 5 月開始。NT の最もハイリスクな地域の地域特性をタンザニア政府、WHO、ユニセフ資料をタンザニア政府厚生省、ユニセフ、WHO の専門家が検討、指標は（ ）乳児の DTP 3 回接種率、（ ）妊婦の TT2 回以上（TT2+）接種率、（ ）清潔な分娩の率、である。NT 例数や NT 罹患率は全ての地区の報告が NT 排除閾値以下であり考慮されなかった（最もハイリスクと考えられる 4 地区と全国の一覧表あり）。
- (2) 集団調査：タンザニア北西部、ブコムベ地区。07 年 6 月 21 ~ 28 日、WHO の集団調査用ブ

ロトコール LQA-CS により 1 回目 975 名、2 回目 1,760 名の新生児を調査、調査数は調訪問可能な世帯数、世帯当り出生数などから算定。調整員が全てのスーパーバイザー、メディカルオフィサー、面接調査員に対し NT の教育(テストも)実施。

- (3) 調査結果：1 回目調査で 2 例の NT 死亡例発見。2 回目調査が必要となり、1 回目と 2 回目調査で計 5 例の NT 死亡例が見つかり、NT は排除されていないという結果となった。調査世帯数 6,476、住民 38,406 名、調査新生児 2,752 名、新生児死亡数は 108 名、母親の TT1 接種率 95%、TT2 接種率 87%、TT3 接種率 65%で、男児 49%、保健施設分娩 35%、有資格助産婦による分娩が 37%であった。

A(H1N1)09 年パンデミー短報 1。Oseltamivir (タミフル) 耐性ウイルス同定。

09 年 7 月 8 日、ジュネーブ。WHO はデンマーク、日本、香港各当局からタミフル耐性ウイルスが分離同定されたと報告を受けた。3 例とも軽症、治癒。周囲の密接な接触者の検査からは接触者への伝播は起っていない。抗ウイルス剤耐性検査世界インフルエンザネットワークの検査室ではこれまで 1,000 近くの A(H1N1)ウイルスが検査されているが全てが oseltamivir、zanamivir 両方に感受性であった。この作業は WHO とその協力機関により継続予定。これまでの報告からこれら耐性ウイルスは散発例で耐性ウイルスの流行は起っていないと思われる。

愛知県感染症情報

2009年31週(2009年7月27日～2009年8月2日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。) *インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。) *インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 (オウム病を除く。)	クラミジア肺炎
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	52	17	3	67	40	112	493	112	138	5	160	2	1,030	164	0	7	0	2	6	0
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	37	12	3	62	20	66	350	86	90	3	124	1	859	135	0	5	0	2	6	0
名古屋	70	70	11	15	5		5	20	46	143	26	48	2	36	1	171	29		2				
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2	1	5	37	2	11	1	6		65	4			1	2		
海部	津島	7	7	2	2	1		3	10	64	2	8		8		69	17						
尾張中部	師勝	4	4	1	1		1			1		2			1	4	1						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1		5	6	29	9	6		10		62	8		1		1	4	
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	1	3	7	28	5	8	1	6		81	3		2				
	江南	6	6	1	2			2	4	32	5	5		26		56	13						
知多半島	半田	6	6	1	2	1		1	4	14	12	8	1	7		69	11						
	知多	7	7	2	2			4	9	26	5	4		8		20	6						
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1		4	5	7	6	2		8		66	11						
	衣浦東部	13	13	2	4	1	1	26	7	47	18	14		15		90	22		1				
	西尾	5	5	1	2	1		6	1	8		2		5		27	12						
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1		2	1	5	8	12		7		53	19						
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1		3	1		30	7	6		11	104	2						
	豊川	9	8	1	2	1		2	2	3	19	7	2		7	90	6		1				
東三河北部	新城	2	2			1		1								3							

*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告

愛知県感染症情報

2009年31週(2009年7月27日～2009年8月2日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	3	62	20	66	350	86	90	3	124	1	859	135	0	5	0	2	6	0
～6ヶ月	2	1			4	3			2		6							
～12ヶ月			1	1	32	5	9		47		58							
0歳																		
1歳		3	3	3	53	20	31		70		202	6					1	
2歳			2	5	35	13	16		5		172	11					1	
3歳		4	2	9	31	14	10	1			150	19					1	
4歳		2	6	11	24	13	11	1			108	34					2	
5歳		2	2	14	27	10	7				82	28						
6歳		5	1	6	15	4	3				41	18						
7歳		1		5	16	1	1	1			17	9						
8歳		2		5	13	1	1				9	3						
9歳	1	7	2	3	12	1					4	1						
5歳～9歳																1		
10歳～14歳		21		2	25						10	3						
15歳～19歳		7			4													
20歳～			1	2	59	1	1			1		3						
20歳～29歳		1																
30歳～39歳		4												1		1		
40歳～49歳		1												1			1	
50歳～59歳		1												1				
60歳～69歳														1				
70歳～														1				
70歳～79歳																		
80歳以上																		

*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告